

事業概要シート

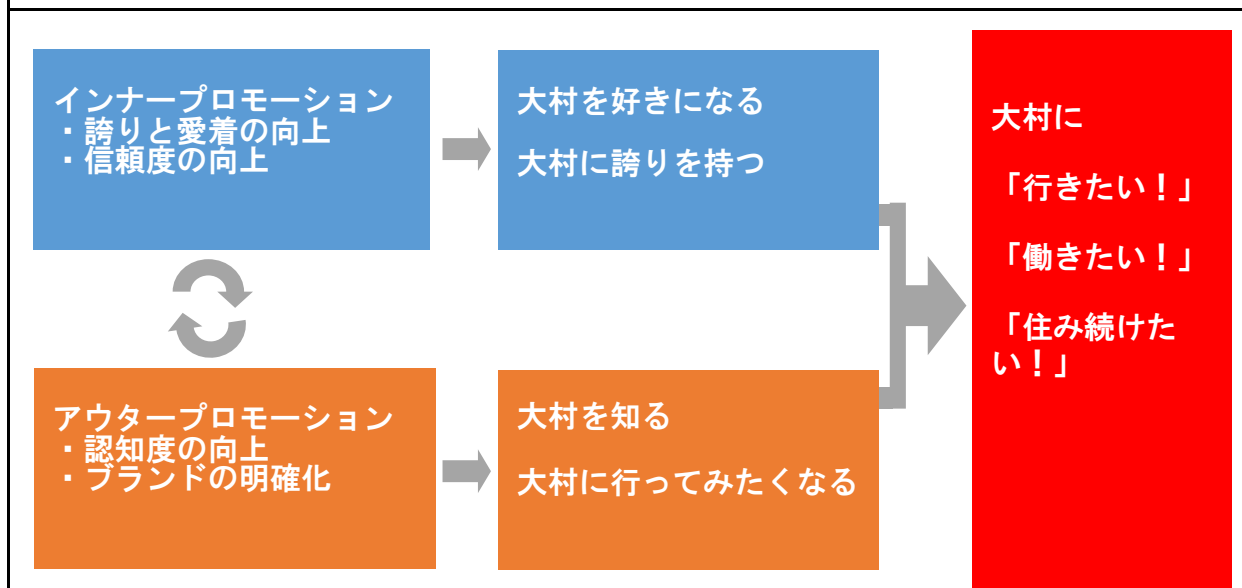
施策 2102 開かれた市政の推進と個人情報 報の保護 <>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	広報活動事業	現状維持	予算額	36,116 千円
			<< 32,670 >>千円	
事業期間	~	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
根拠法令要綱等			地方債	千円
			その他	1,901 千円
			一般財源	34,215 千円

【事業の目的・概要・対象】

市政に関する情報を市民にわかりやすく的確に提供することにより、市政に関する市民の理解を深めるとともに、市民の積極的な市政参加を促進するため、各種情報メディアを活用し、効率的に市政情報を提供する。なお、令和元年度から広報紙のフルカラー化を実施し、さらに見やすくなった広報紙を提供する。

- ① 広報おおむらの発行（月1回）
- ② ケーブルテレビおよびFMおおむらによる「広報おおむら」の放映・放送、情報提供
- ③ 報道機関各社に対する市政情報の提供（随時）
- ④ 市長定例記者会見の開催（毎月1回）
- ⑤ 市のホームページやSNSによる市政の迅速な情報発信



【SNSの活用状況】

- ◆ フェイスブック（平成25年3月配信開始、投稿2～3本/日、購読者数4,247件）
- ◆ ユーチューブ（平成28年11月配信開始、投稿2～3本/月、購読者数471件）
- ◆ インスタグラム（平成29年12月配信開始、投稿1～2本/週、購読者数2,106件）
- ◆ LINE（平成30年4月配信開始、投稿4～5本/月、購読者数3,278件）

【背景】

人口減少社会への対応として、地方創生の取り組みが全国で展開される中、地域間競争は激しさを増している。本市の様々な魅力を市民はもちろん、全国に向けて発信し、知名度やイメージの向上を図り、大村のブランド力を磨いていくことが求められており、様々な媒体を通じて、幅広く情報発信をしていく必要がある。

担当課	企画政策部広報戦略課	課長	鈴木 正隆
担当者	百武 修一	問合せ先	0957-53-4111（内線204）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	市政だより発行部数（年間）	部	401,400	403,500	403,500	403,500	403,500
②	フェイスブック投稿数	件	621	600	600	600	600

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	市政だより配布部数（年間）	部	398,722	403,500	403,500	403,500	403,500
②	フェイスブック「いいね！」総数	件	57,948	72,000	72,000	72,000	72,000

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	26,991	28,069	32,670	36,116	36,116	36,116	196,078
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	1,866	1,866	1,883	1,901	1,901	1,901	11,318
一般財源	25,125	26,203	30,787	34,215	34,215	34,215	184,760
人件費	23,446	17,647	17,755	17,755	17,755	17,755	112,112
職員(人)	2.95人	2.15人	2.15人	2.15人	2.15人	2.15人	13.70人
時間外勤務(h)	997h	1006h	1060h	1060h	1060h	1060h	6243h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	50,437	45,716	50,425	53,871	53,871	53,871	308,190

妥当性 (市の関与)	市政に関する情報の提供は、市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	市民の年代層にあった情報取得方法を考慮しながら、市政情報を取得できる環境を整備することは、開かれた市政の推進に大きな効果がある。
効率性 (コスト)	広報おおむらに民間事業者の有料広告を掲載する等、印刷コストなどの縮減とあわせた歳入確保にも努めている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	担当者意見のとおり